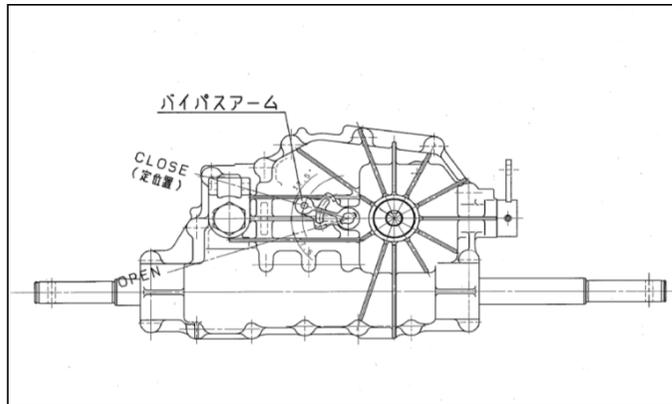


7-9G  
AM08~AM14  
30187-15101  
SB-10

●走行ミッション、及びHSTのオイル点検は毎日行ってください。				
【点検】				
● オイルレベルはミッションオイルが温度上昇すると、熱膨張により上昇します。ミッションオイルが冷えている時にレベルの確認をしてください。 (常温:約20°C±10°C目安)				
● オイルの油面がサブタンクのUPPER~LOWERの中間位置に見えることを確認してください。				
● オイルを入れ過ぎた場合、ミッションオイルの温度上昇によりオイルが熱膨張し、ミッションに内圧がかかり、ミッション各シール部から漏れ出すことがあります。オイルは入れ過ぎないでください。				
● 水が混入したり、オイルに異常がない限り、オイル交換の必要はありません。				
初期交換時期	2回目以降	オイル種類	オイル規格	容量
一体型ミッション	シーズン前	エンジンオイル	10W-30	2.0L



◎走行はするが車速が遅い、またはエア噛み音がある場合、
①エンジン高回転で、高速走行前・後進(10m程度走行)を3~4回転繰り返す。
②車速を確認する。
③オイル量がサブタンクの規程位置(UPPER~LOWERの中間位置)にあるかチェックし、足りなければ補充して下さい。
※改善されない場合、下記要領でエア抜きを行なって下さい。
①別紙添付図に示すバイパスアームをOPEN位置にする。
②エンジンをかけてアイドル状態にする。
③走行レバーを前進フルストローク位置にする。(20秒程度)
④走行レバーを中立位置に戻し、エンジンを止める。
⑤バイパスアームを定位置(CLOSE)に戻す。
⑥車速とオイル量を確認する。オイル量が不足していれば補充して下さい。
※オイル量は常温状態で再度チェックする事。